

### 社会福祉学科通信制

私は以前、福祉とは違う仕事をしていましたが、祖母の介護やボランティア等がきっかけで、福祉の道に進もうと考えました。もっと幅広く福祉を学びたいと思い、熊本YMCA学院の社会福祉学科通信制に入学しました。

1年6ヶ月間の学院生活では、毎月のレポート提出と、月1回、土曜日（実習が必要な方のみ）と日曜日のスクーリング、約1ヶ月間の相談援助実習（実習が必要な方のみ）、国試の勉強などさまざまなことがありました。特に、レポートや実習課題が上手いかず大変な時もありました。でも、学院の先生方のきめ細かなご指導や家族・仲間等の支えもあり、何とか乗り切ることができ、充実した学院生活を送ることができました。

学院修了後も、国試の申し込みから試験対策まで、学院側のサポート体制も充実していて安心して受験勉強に取り組むことができました。また、学院の仲間の存在も大きく、互いに、試験の情報交換をしたり、励ましあったりして、自分自身の活力にもなりました。お蔭様で、第28回の国家試験にも合格し、無事に資格を取得することができました。

熊本YMCA学院は、自分の力を十分に発揮できる場所です。設備面や学習環境も整っていて、専門の講師や先生方によるサポート体制も充実しています。やる気次第では、資格取得も可能です!!そんな熊本YMCA学院で、みなさんも学んでみませんか？

（社会福祉学科通信制修了生） 13期生 熊本クラス

N・Yさん

### 精神保健福祉学科通信制

1年間、仕事と両立しながら通信制の学びはとても大変でした。通年で課題がでているので、次の月、次の月と余裕を持って対策しようと心掛けていましたが、実際は郵送の期限に追われながら仕事後の自宅ではつかれがでるので、メリハリのため喫茶店等でも対策をしていました。又、おすすめするのは私の場合、別の受講生Nさんと学習会を定期的に行い互いの進捗状況などを確認し声掛けを行なえたことでメリハリができて良かったです。

また同じ目標を持った方々と、各専門家や当事者の言葉を通して精神保健福祉士というモノを学生期間において日々考えました。実習も2ヶ所行くことができ、とても有意義でした。

今後、障がい者に関わる業務に就きたいと考えていますが、知識、技術、体験の習得とともに、個人（自身）の資質も問われることです。援助支援者としての知識・技術・資質などを高めていきたいと思っています。

（精神保健福祉学科通信制修了生） 8期生

I・Wさん



## 学校概要

YMCAは、1844年産業革命のさなかのイギリスのロンドンで誕生し、現在では120を超える国と地域で活動を行っている社会教育団体です。当時は貧富の差や都市と地方の格差が広がり、将来への希望が持てない社会状況を何とかしたいという志を持つ青年達がキリスト教精神に基づき立ち上がったのです。青年達の動きは、福祉のひとつの原点ともいえるセツルメント運動を連想させるものがあります。日本では1880年に東京でYMCAが誕生し、熊本では1948年に生まれました。以来63年間、青少年教育活動や奉仕活動、職業教育等を「共生社会の実現」「地球環境の保全」といった使命に基づき充実した学校運営を続けています。

